



福島保育所

議会だより や め

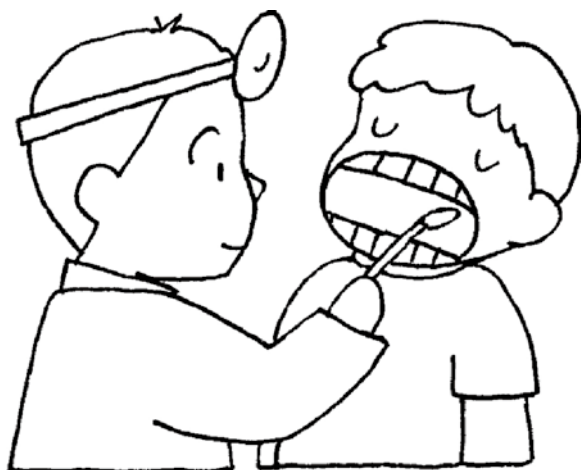
No.160 平成30年5月1日

- P 2-3 **30年度予算の主な新規事業は**
- P 6 **委員会審査**
- P 8 **ここが聞きたい!** 一般質問 **12人**の議員が登壇
- P 16 **調査研修を行いました** ～調査報告～

平成30年度の新規事業

3月
定例会

子ども医療対策事業 1億8884万円



平成30年10月診療分より、中学生の通院に係る医療費助成を拡充します。乳幼児の入院・通院に係る医療費および小・中学生の入院に係る医療費の全額助成ならびに小・中学生（中学生については平成30年10月から）の通院に係る医療費を助成（一部自己負担あり）します。

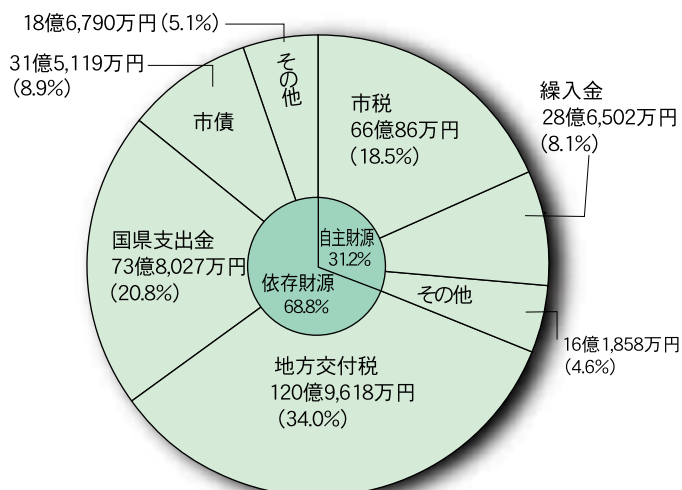
中学生の医療費助成を拡充

3月定例会は2月28日から3月22日までの23日間の会期で開催しました。
市長より提案された議案は、総額35億8000万円の平成30年度一般会計当初予算案や条例改正案など51件で、いずれも原案どおり可決されました。
予算については予算審査特別委員会を設置して審査しました。

支援を見据えた当初予算を可決 355億8000万円です

▼平成30年度当初予算

区 分	歳入歳出予算額
一般会計	355億8,000万円
国民健康保険事業費	84億7,240万円
簡易水道事業費	2億2,147万円
住宅新築資金等貸付事業費	205万円
下水道事業	13億8,440万円
介護保険事業費	77億5,032万円
後期高齢者医療	10億4,758万円
農業集落排水事業	8,924万円
矢部診療所	6,511万円
黒木町串毛財産区	331万円
黒木町木屋財産区	818万円
水道事業	9億6,603万円
総 計	555億9,009万円



一般会計歳入の内訳

高齢者運転免許証 自主返納支援事業550万円



高齢運転者の交通事故が増加傾向にあるなか、予約型乗合タクシー及び一般タクシーの利用券（1人1回限り合計6万円分）を交付することにより、運転免許証の自主返納を促進し、高齢運転者による交通事故の減少を図ります。

防災士育成事業 305万円



「自助」「共助」「協働」を原則として、かつ「公助」との連携充実に努めて、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のために活動する防災士の資格取得に必要な研修講座を開催し、地域防災力の向上を図ります。

庁舎建設事業 2285万円



平成36年度までを目標とした新庁舎建設にあたり、市民サービスと事務効率の向上等のため、ニーズ把握や現状分析を行い、建設計画の基本事項を取りまとめた基本計画を策定します。

新規就農促進支援事業 1億156万円

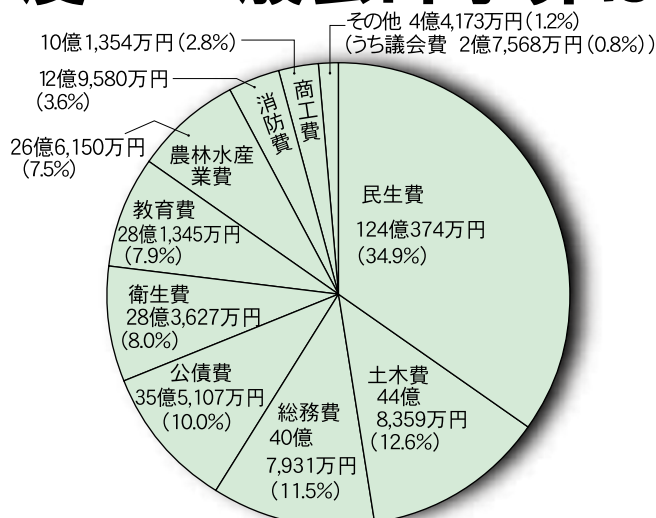


次世代を担う農業者となることを目指す経営開始直後の新規就農者に対して、農業に必要な初期経費等の資金を交付することにより、農政新時代に必要な人材力の強化を図ります。

『人口減少』『少子高齢化』の 平成30年度 一般会計予算は

一般会計の歳出を性質別にみると…

扶 助 費	69億2,542万円 (19.5%)
普通建設事業費	50億8,017万円 (14.3%)
物 件 費	50億2,552万円 (14.1%)
補 助 費 等	49億3,411万円 (13.9%)
人 件 費	49億1,825万円 (13.8%)
繰 出 金	40億8,333万円 (11.5%)
公 債 費	35億5,145万円 (10.0%)
そ の 他	10億6,175万円 (2.9%)



一般会計歳出の内訳

議案審議

限られた予算

有効に
適正に

平成30年度八女市一般会計予算
について

企業版空き家バンク計画策定 業務委託料

問 企業版空き家バンク計画策定業務委託料の具体的な内容は。

答 現在、居住用のみに限り実施しているが、企業や事業者まで対象を拡張するにあたり、その誘致活動を円滑化するために企業目線での現地の調査や誘致戦略の策定をするものである。

問 実施計画を策定後、具体的な実施をするの

とだが、どういう効果を想定されているのか。

答 空き家の活用や移住人口、定住人口の増加が望めるが、企業や事業者に来ていただくことで地域経済にも大きな効果を期待できるのではないかと考えている。

道路河川愛護活動報償金を倍増

拡充！

道路河川愛護活動報償金

報償金5万円

↓倍増

平成30年度 報償金10万円

問 道路河川愛護活動報償金の変更点は。

答 今回の改正について、報償金の限度額を現在の5万円から10万円に引き上げるものである。

問 その他の条件は一切なく、5万円から10万円に変更ということでしょうか。また、地域によって作業範囲が大きく異なるのは実感しているが、人的なことを含め支援策を検討しているか。

答 今年度で3年が経過

し、各地域からの要望等で課題も見えてきた。中山間地域と市街地では、作業内容や範囲等も大きく違っている。この制度の趣旨としては、報償金として行っており、その他の支援策については、市での直営作業なり、委託で力バーする。また、必要な大型機械等がある場合は別に機械のリースを市で行い、対応することを考えている。



乗合タクシー運行事業の今後について

問 乗合タクシーの利用者が減少していることと併せ、今回高齢者運転免許証自主返納事業がスタートする。最高時の平成24年から、1万2千人利用者が減少しているが、利用者減の原因、また今後どのように考えているか。

答 高齢者ドライバーの増加と、利用者の固定化が原因として考えている。高齢者ドライバーの増加については返納促進策が予定されているが、利用者の固定化対策として、乗合タクシーの利便性や有用性を紹介し、新規利用者が増えるように説明会等を開催していきたいと考えている。

問 市民からの改善要望の中で、土日・祝日の運行、予約の受付時間の延長、通行エリアの見直しなどが出ているが、どのように考えているか。

答 車の増便やドライバー

を始めとしたスタッフの増員につながり、コスト増になる。その結果、最終的に利用料金に影響を及ぼす。利用者の大半が高齢者であるため、土日・祝日の運行は慎重な立場である。

また、予約の受付時間については、乗合タクシーの特徴として1時間に1本運行を原則としている。広い範囲をカバーしているため、予約時間については余裕を持っていたらいい。今後とも利用者の声には真摯に耳を傾け、利用者の増加、利便性の向上に努めていく。



乗合タクシー

人事案件

教育長

次の方を選任することに同意しました。

はし もと よし ふみ

橋本 吉史 氏

教育委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

あか し まり こ

赤司 真理子 氏

固定資産評価 審査委員会委員

次の方を選任することに同意しました。

すぎ やま のぶ ゆき

杉山 信行 氏

財産区管理委員

次の方を選任することに同意しました。

つつみ かず とし

堤 和俊 氏

人権擁護委員

次の方を適任と認めました。

さくら ぎ けい こ

櫻木 恵子 氏

いの うえ みつ ひろ

井上 光洋 氏

しお つか みつ のり

塩塚 光徳 氏

な す の しん

那須野 信 氏

国民健康保険の運営主体が 市町村から都道府県へ

八女市国民健康保険税
条例の一部を改正する条
例の制定について

【提案理由】

福岡県国民健康保険運
営協議会条例及び福岡県
国民健康保険広域化等支
援基金条例の一部を改正
する等の条例（平成29年
福岡県条例第40号）の施
行に伴い必要な改正を行
うもの。

問

平成30年の4月から
国民健康保険の運営主体
が県に移行し、被保険者
に課税する国民健康保険
税を県へ納付する健康保
険事業納付金についての具
体的な内容は、

答

今回新たに制度改正
が設けられた背景には少
子高齢化が進み、国保会
計が大変厳しい状況があ
る。
今回の改正は県が協議

消防団の定員を見直し

八女市消防団条例の
一部を改正する条例の制
定について

【提案理由】

消防団の定員を見直す
とともに、出勤手当につ
いて、必要な改正を行うも
の。

問

1807人から176
7人の40名減ということだ
が、自治体では団員減少
に伴い、消防団員の募集

も図っている。また、大規
模災害が頻繁に起っており、
団員の確保は、大きな課
題と考える。今回定数が減
っているが、どのような理
由があるのか。

答

市では、消防団員の
公務災害の組合等に加
入しており、条例定員に基
づき負担金を払っている。
欠員があるとしても、条
例定員で負担金を払うと
いうことは、その分八女市

が不要な負担をいられて
いることになる。よって条
例定員を実団員数に合わ
せる今回の改正である。



消防出初め式

厚生

審査の主なもの

- 八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
- 八女市介護保険条例の一部を改正する条例（全員賛成で可決）
- 平成29年度八女市一般会計補正予算（第7号）（全員賛成で可決）
- 平成29年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第3号）（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市一般会計予算（賛成多数で可決）
- 平成30年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市介護保険事業費特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市後期高齢者医療特別会計予算（全員賛成で可決）
- 平成30年度八女市矢部診療所特別会計予算（全員賛成で可決）

本庁舎建設に向けて

問 庁舎建設に向けた市民懇談会の内容と規模は。

答 基本計画を策定する

にあたり、市民の意見を反映し、新庁舎に必要な機能などを具体化することとが重要であるため、外部

の方を委員に入れて懇談会を開催する予定。15名程度を予算化している。

問 庁舎建設基本計画の内容について。

答 基本計画策定業務を

委託するが2つの委託業務がある。1つ目は現庁舎の

現状と課題を専門的な見地から整理すること等。もう一つは執務環境の調査分析である。

高齢者運転免許証自主 返納支援事業について

問 支援事業の内容は。

答 対象者は70歳以上の
自主返納者に対して予約

型乗合タクシー及び一般タ

クシーに利用できる交通利
用券（回数券）を返納時

に1人1回限り6万円交付する。県内では八女市が一番高額な支援をすることになる。

八女東部スポーツ公園 施設整備事業について

問 照明を整備するの

か。
答
今回は観客席と屋根

国民健康保険事業が市と県の共同運営に

問 政令指定都市の福岡・北九州市も同じ改正か。

答 県内全ての市町村が加入し、県との共同運営になる。

第7期八女市介護保険
事業計画を策定

問 計画では保険料が増えて年金生活者には厳しい。実態に伴った計画にすべきである。

答
地域包括ケアシステム

構築にあたり、他部署との連携、支所及び地域との情報交換を図って取り組

お。問 これ以上給付費が増えればサービスの見直しな

どが発生するのか。

答 自立した生活に向け

て介護予防事業に取り組む。

高齢者世帯の緊急通報システムが消防方式からコールセンター方式へ

問 利用料が発生するた
め継続されない方がいる。
対策はどうするか。

答 移行前の利用世帯3
15世帯の内120世帯が

移行を希望されなかった。
今後、民生委員にシステム

の内容理解と周知をお願いいたします。

なげたい。



緊急通報機器

システム移行によりこれまでの緊急のみの対応に加え、相談機能、安否確認、簡単な生活支援など内容を拡充している。



八女市役所本庁舎

の整備で照明は考えていない。

建設経済

審査の主なもの

○平成29年度八女市一般会計補正予算(第7号)	(全員賛成で可決)
○平成30年度八女市一般会計予算	(全員賛成で可決)
・若者の農業・農村参入及び定着促進事業費補助金	396万円
・バイオマス事業費	2651万円
・観光費	4億4647万円
・公園費	1億 640万円
・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画検討業務委託料	1400万円

問 進捗状況は。
答 事業の候補地を選定中である。平成32年10月か

問 木質バイオマス発電事業について

答 新規就農者に対して県が行うソフト事業である。育成指導員の配置、担い手育成総合支援協議会への支援など新規就農者の確保に関する事業を行っている。

問 事業の内容は。
答 新規就農者に対して県が行うソフト事業である。育成指導員の配置、担い手育成総合支援協議会への支援など新規就農者の確保に関する事業を行っている。

問 燃料とする材の確保は。
答 森林組合で調整を行っている。2千キロワット未満の発電規模での年間3万3千トンには概ね集まるという調査結果になっている。

問 公園整備について
答 八女津媛神社のトイレと駐車場の計画設計。飛形山の上の公園と立花地区内の各施設の間を回遊できる構想を策定する。宮野公園のバリアフリー対策工事を予定している。



バリアフリー対策工事予定の宮野公園

若者の農業・農村参入及び定着促進事業について

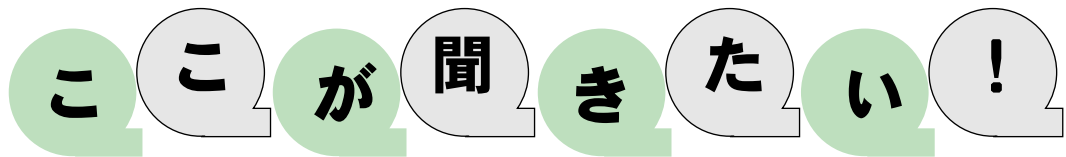
問 中学生の通院医療費の一部助成へ
答 10月からとしているが理由は。
問 条例の改正、システム改修、国保連合会や支払基金との調整期間が必要である。
健康ポイント事業始まる
問 どのような内容か。
答 40歳以上の市民を対象に、特定健診や特定保健指導並びにがん検診などを積極的に受診してもらうための周知方法は。
問 市内で行われるマラソン大会等でポイントを獲得できる仕組みづくりを検討する。チャレンジデーやスポーツ・健康づくりフェスタ、ガイドブック等を利用して周知に努める。
問 年度内にポイントを達成しなかった場合の取り扱い。
答 次年度にポイントは繰り越してできない。

健診は健康づくりの第一歩



特定健診受診風景

問 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画について
答 計画範囲と期間は。旧八女市、立花町、黒木町の都市計画区域に對してのマスタープランである。立地適正化計画は、八女市全体についての計画で平成30年から3年間の予定である。
問 庁舎建設との関係は。
答 立地適正化計画の中で検討し、横の連携を図りながら計画に盛り込んでいくという形になる。



一般質問

月 日	質 問 者	質 問 事 項
3月5日 (月)	萩 尾 洋	1 地域医療のあり方について
	小 川 栄 一	1 福祉政策について
		2 まちづくりについて
	松 崎 辰 義	1 環境問題について
		2 就学援助について
	栗 原 吉 平	1 観光振興について
		2 地域情報通信基盤整備推進交付金について
		3 ドローンの利活用について
		4 農林産物の輸入対策について
3月6日 (火)	三 角 真 弓	1 行財政改革について
		2 職員の健康管理について
		3 公共交通網形成計画について
		4 自殺対策について
	牛 島 孝 之	1 行政区の再編に対する八女市の考えは
		2 市本庁舎及び支所の新築についての考えは
		3 八女市の教育について
	田 中 栄 一	1 財政調整基金等の現在高に対する考え方について
	森 茂 生	1 マイナンバーについて
		2 緊急通報装置貸与事業について
		3 林業、森林について
		4 バイオマス発電について
3月7日 (水)	角 田 恵 一	1 庁舎建設について
		2 公立八女総合病院について
	服 部 良 一	1 豊岡地区への小石原川ダムからの上水供用について
		2 生活排水について
		3 旧木屋小学校の再利活用について
	橋 本 正 敏	1 緊急通報装置の利用者負担について
		2 運転免許証自主返納者に対する支援について
		3 荒廃竹林の竹材利用について
	高 橋 信 広	1 行財政改革について

疾病構造の変化に伴い、県が策定している 地域医療構想に対する市の考えは



萩 尾 洋

答 構想の実現に向け、努力をしなければならないと考えている



介護老人保健施設
回寿苑

公立八女総合病院

みどりの杜病院

問 広大な中山間地域は少子・高齢化が進む中、本市における公的病院の必要性はあるのかないのか、今後、へき地医療は重要な課題になってくると思うが。

答 不採算部門を担うのは公的病院の使命であり、八女東部地域の医療を確保するためには重要であると認識している。

問 総務省の新公立病院改革ガイドラインの中にあり、経営主体の統合、病院機能の再編の推進とあるが、市はどのように考えているのか。

答 筑後市、広川町、八女市、この医療圏の体制をどう整えていくのか、久留米大学も含め様々な機関を通じて議論をいただき、そして市民の皆さま方が大方合意できるような結論を出さなければならぬと思っている。

問 今月中にも市としての方向性を出さないと、久留米大学は遠慮なく医師を引き上げると思うが。

答 筑後市、広川町、また久留米大学との協議が必要になるが、この2カ月位の間にまとめることができている。

問 今後、在宅医療や、地域包括ケアも含め、医師会との連携も重要になってくると思うが。

答 八女筑後医師会の構成自治体である、筑後市、八女市、そして広川町と広域で八女筑後地区在宅医療介護連携促進事業市町村連絡会議を立ち上げ、医師会との協議をすすめている。



小 川 栄 一

問 農業振興課として国・県の補助制度は。農業分野の制度はあるが、福祉に対する市単独の補助メニューはない。

答 福祉課の補助は。農業振興課や県と連携していききたいと思っているが、市の一般財源に



農福連携

よる支援は現在のところ考えていない。

問 全国的にみると、自治体独自で積極的に取り組んでいる所もあるが。

答 自主財源が、市予算の30%しかない。国・県の支援がないこれからの難しい課題を解決していくの

答 しようがい者が農業の担い手となる「農福連携」の取り組みは

自立支援協議会の中で1年前から検討を始めている

は困難である。

問 まちづくりについて旧北平塚市営住宅の跡地は、住宅メーカーなどが開発すればすぐにでも売れるような非常に利便性の高い土地で、徒歩圏内ではほとんどの用事を済ませられるところだ。買い物に行くのも大変なお年寄りが増えている状況で、福祉も含めた市営住宅の計画はできないのか。

答 市の住宅政策については、高齢者対策も含めて十分検討していかなければならない。そのような市営住宅として建設することの一つの方法だろうと考えている。

個人負担の少ない市町村設置型 浄化槽を進めるべきではないか

答 調査、検討をする



松 崎 辰 義

問 今、問題なのは、浄化槽と下水道では管理費に差がありすぎる。5人槽と比較すると、年間約一百万円の差がある。これを縮めていくことが必要である。また、八女市が進めている個人設置型では取り付け費用も総額の約半分が自己負担となっているが、市町村設置型だと費用の1割が個人負担であり負担が軽い。

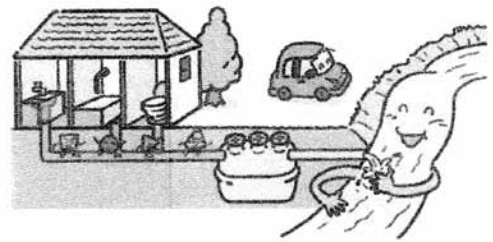
答 市町村設置型について調査をしているのか。

答 下水道事業が行き詰まりといていいのか分からないが、事業の見直し等の中で、新たに市町

問 新聞報道で就学援助について、八女市と久留米市は据え置きとあったが、これは憲法第26条や第19条でも保障されたものである。

答 教育委員会は、就学援助についてどのように考えているのか。

答 子どもの貧困対策の一部としても捉えており、市長部局と協議の上、改定については前向きに検討したい。



浄化槽設置を進め河川浄化を

問 インバウンド需要の取り込みによる地域活性化の振興施策について。

答 外国人観光客を対象にしたモニターツアーの実施など施策を講じたい。

問 光ファイバーの整備と公共施設及び観光施設へのWi-Fiの積極的な整備は必要ではないか。

答 光ファイバー網のカバー率は100%となっている。加入促進を図り情報化社会の環境整備に努めていく。

問 ドローンの活用についての検討は。

答 企業とドローンによる災害対策活動に関する



栗 原 吉 平

応援協定を締結したが、その他、活用について体制の構築を行っていく。木材輸出は、福岡県産材の輸出対策はどうなっているのか。

問 八女市の農林水産物の輸出促進協議会による輸出拡大事業に期待する。

答 JAふくおか八女の販売戦略を支援したい、輸出促進協議会による、輸出拡大事業に期待する。



買い物などのお手伝いをする時がくるでしょう

答

基盤強化を行い商品開発、観光PR事業を展開していく

観光整備の充実に向けた
施策は

人口減少に伴う財政状況が厳しくなる中 どのように健全化を図るのか

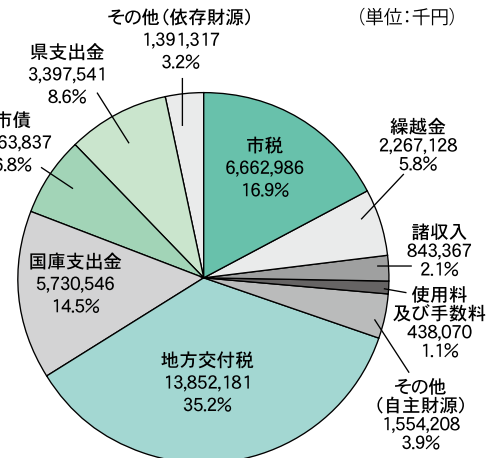
答 簡素で効率的な行政運営に務め、財政の基盤を
確立する



三角 真弓

問 合併前平成21年度
238億円あった実質債
務が平成25年度には84億
円減少し、154億円と
なっている。職員の方々
の努力だと思うが、今後
は高齢人口の増加による
扶助費や国保等、また上
下水道等への繰出金の増
加により経常収支は悪化
する見通しである、今後
の対策は。

答 市民サービスを低下
させないためにも定住施策
や子育て施策を打つこと
で歳入確保をやる一方、歳
出削減として公共施設の
維持管理費を計画的に縮
減していく。



平成27年度普通会計決算収入の状況

問 職員の健康管理は
庁舎内での喫煙の在り方
及び冷暖房の管理等、本
市の財政状況を鑑み、適
正化を図るべきではない
か。

答 職員間の協力である。
問 公共交通網形成計画は
パブリックコメント
を受けての課題は。

答 地域と交通事業者と
行政の連携強化を図る。
問 自殺対策の策定状況は
国民健康保険の1位
は依然として精神疾患で
あり、自殺対策の計画は
急務ではないか。

答 平成30年度に策定予定。



牛島 孝之

問 アニメ「めぐみ」の
ビデオはいつ八女市に送
られてきたのか。

答 平成26年1月に県の
人権・同和教育課から送
られてきて、翌日から小中
学校に配布している。



北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」

問 アニメ「めぐみ」に
ついてどのように活用し
ているのか。

答 平成29年度は小学校
8校中学校1校で活用し
ている。今後の活用につ
いては有効活用できるよう研
究を行っていく。

問 上陽支所は南棟が昭
和35年の建築であるが新
築建替についての考えは
ないのか。

答 上陽支所については、
まだ検討の段階ではない。
まず重要な本庁舎の新庁
舎建設に全力を挙げたい。

問 日本人拉致問題につ
いて教育長の認識は。

答 北朝鮮による犯罪で
あると認識している。
問 市本庁舎及び支所の新築
について

問 検討課題として、新
庁舎の場所的なものを含
めて検討されるのか。

答 場所については、駐車
場も含めて総合的に考え
たいと思っている。

答

それぞれの学校で社会科の時間
に学習している

八女市では拉致被害者の
人権についてどのように教
えているのか

基金残高が非常に大きい。身近な問題解決に向けて有効活用すべきでは

答 日常生活で求められている事業は、真摯に受け止めやっていく



田 中 栄 一

財政調整基金等の現在高の状況(平成28年度決算より)

基 金 名 称	年度末現在高	備 考
財 政 調 整 基 金	121億7,930万円	災害復旧、地方債繰上償還 その他財源不足時の財源
減 債 基 金	5億8,026万円	市債の償還財源
公 共 施 設 整 備 基 金	58億8,252万円	公共施設の整備財源
小 計	186億4,208万円	
その他特定目的基金	34億9,647万円	特定の目的に要する財源
合 計	221億3,855万円	

問 平成28年度決算の財政調整基金残高が121億円で標準財政規模に対し59%と突出して大きい。どう考えられているか。

答 高水準と認識している。地方交付税が段階的に低減されるため積み増しをしてきた。今後は確実に減ってくるが、市民生活に極力支障が出ないように財政運営をやっていく。

問 積立基金の運用はどうされているか。

答 資金管理運営委員会と運用基準により運用している。現在は約29億円を国債・地方債で運用し、その他は定期預金等である。

問 地方自治体の基金残高が増えている中で、自治体に対して地方交付税削減の動きがあるが。

答 地方6団体から申し入れして、今回は総務省の予算折衝過程で16兆円の枠が確保できた。今後とも注視していく。

問 基金積み立ての適正規模をどう考えているか。

答 20%程度は年度間の調整財源に、さらに災害復旧資金を考慮して60〜65億円は必要と考える。

問 市の規模に見合った予算総額の圧縮が必要ではないか。

答 庁舎建設などの大規模事業があり明確にお答えできない。



森 茂 生

バイオマス発電について

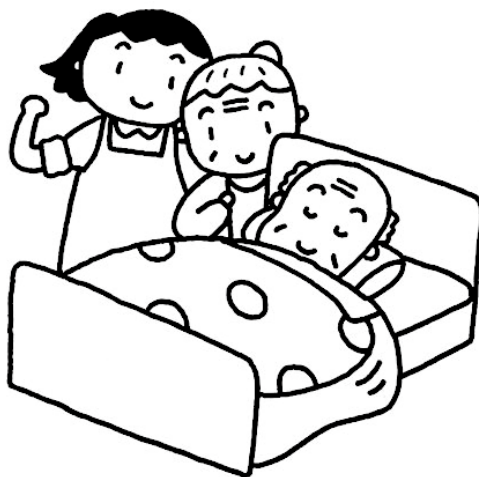
問 発電事業者141社に行った調査で、収支がプラスとの回答は26%、マイナスが28%、未回答46%となっている。経営は厳しいのが現状。発電事業に反対はしないが長期的、総合的に判断する必要がある。発電に必要な木材チップの使用量は、

答 1日100トン、年間3万3千トンを見込む。

問 100トンを長期的に安定的に確保できるかが心配される。最初は出

バイオマス発電に必要な
木質チップの使用量は

答 1日100トン、年間3万3千トン



しやすい場所から出し、り、月に400円の使用段々山奥になり、予定量が確保出来なくなる事例が多い。

答 森林関係者等の聞き取り調査の結果、収集できると判断した。

緊急通報装置貸与事業について

問 無料だったのが、システム変更で昨年12月よ

答 状況を調査する。

議会が提言した今後の公立八女総合病院のあり方についての考えは

答 八女地域医療の拠点としての重要性は認識している



角 田 恵 一

問 今後の公立病院について、筑後市立病院との統合を視野に入れた協議を進めたいとの考えを示されたが。

答 現在の経営は厳しい状況である。筑後市立病院も今後、同じような環境になるのではないかと。今、医師の確保が、どの病院でも大きな問題となっている。医師の確保ができなければ経営が成り立たない。2つの病院が一つになって合理的に、久留米大学病院を中心に医師の確保をしていくことが公立病院としての存続につながる。



八女地域の医療拠点である公立八女総合病院

問 今後の公立病院について、筑後市立病院との統合を視野に入れた協議を進めたいとの考えを示されたが。

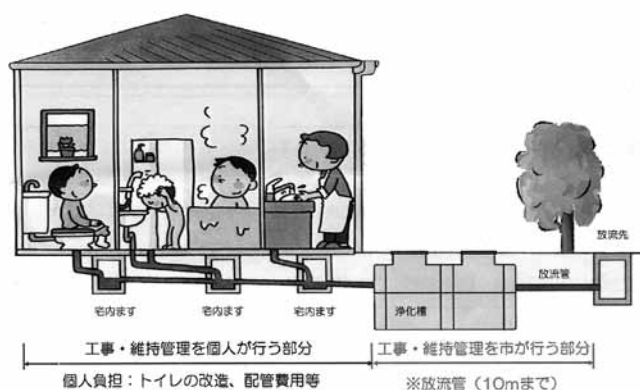
答 基本計画の内容として、現庁舎の課題、必要とされる機能や整備方針、規模の設定、配置などを検討していく。また、アンケート、市民説明会の実施、有識者会議等を開催する。実施計画から建築工事までは約3年程度かかる。合併推進債の活用期限は平成36年度であるが、1年でも早く前倒しできればと考えている。

問 豊岡地区への上下水道整備は何年頃になるのか。

答 平成32年に着手し、33年4月を見込んでいます。

問 小石原川ダムからの上水道は料金が高いのでは。

答 最終的には現在の上下水道の価格に合わせたい。



浄化槽設置の費用負担イメージ

問 下水料金と個別型浄化槽の管理費とは格差があるが。

答 下水料金は使用料なので世帯人員が減少すれば世帯支払率は安くなるが、個別型浄化槽は管理費なので、世帯人員が減少すれば、世帯支払率は高くなる。

問 統廃合して4年、これまでどの様な企業に紹介されたのか。

答 問伐材の製造業、太陽光発電、バイオマス、シェア、ゲストハウス等で現在、11企業と交渉中である。



服 部 良 一

上水道、生活排水の格差を一律に

答 上水道は柔軟に検討、生活排水は調査研究したい

問 市町村設置型浄化槽制度は国の補助、地方創生交付金などがあり市政に負担がかからない。個人も使用料になることから導入を考えられないか。

答 調査と研究を進めた

問 市町村設置型浄化槽制度は国の補助、地方創生交付金などがあり市政に負担がかからない。個人も使用料になることから導入を考えられないか。

答 調査と研究を進めた

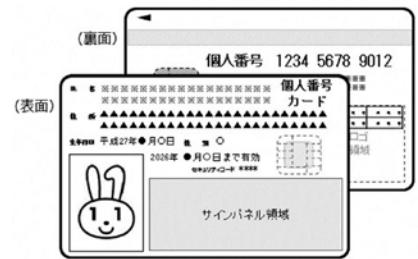
緊急通報装置の利用者負担が月額400円になる理由は

答

事業者の委託料と機器使用料の一部を利用者にお願いするため



橋 本 正 敏



マイナンバーカードは運転免許証
自主返納者のコンビニでの証明書
発行に使えます

問 これまでのシステムと新システムの違いは。

答 これまで利用者の通報は消防通信指令センターにつながっていたが、これからは市が委託したコールセンターにつながる。24時間365日、保健師など専門オペレーターが対応し、緊急時の救急要請のほか定期的に安否確認、利用者相談など日常生活のサポートも行うようになる。

問 住民票などのコンビニ発行について。

答 今年2月から全国のコンビニで午前6時30分から午後11時まで利用できるが、マイナンバーカードが必要。

問 荒廃竹林の竹材利用について

問 林業経営の安定と森林機能保全のため環境税の導入は。

答 70歳以上の運転免許証自主返納者に対して、八女市予約型乗り合いタクシーを図っていききたい。

市民と行政との協働のまちづくりについて

問 「市とまちづくり団体との協働によるまちづくり基本方針」に基づく現状と今後の取り組みは。

答 方針に基づく地域振興計画は、21地区まちづくり団体すべてにおいて平成29年度末までに完了し、新たな段階に入ったと認識している。今後は、地域振興計画の実現に向けた支援を行う。

問 ハードルの高い地域分権については、今後どのように進めていくのか。

答 行政改革という観点から、地域の力、行政と地域との協働は重要な柱



高 橋 信 広

答

改めて、理解いただけるよう十分説明する

平成22年度に定めた「まちづくり基本方針」のまちづくり団体への説明は



になる。基本的には、協働の活動が活発になるような支援をしていく。また、来年度予算に事務局設置相当の増額を計上しており、自分たちの地域は自分たちでつくるという考えを育てていく。

問 行政区と自治会の定義を明確にした上で、行政主導で行政区の再編成を行うべきでは。

答 市長が定める地域が行政区とあるが、再編に

問 行政区は、まちづくり協議会を構成する基幹的存在ではあるが、組織と機能は別物と解釈いただきたい。



タブレット端末研修を受ける議員

ただいま悪戦苦闘中

市議会3月定例会から、本格的にタブレットの使用を開始しました。

今後、議会のペーパーレスによる印刷費・郵送料などのコスト削減並びに業務量の抑制をします。また、議案・資料等情報のストック化と共有化を推進し、会議の効率化と市民へより分かりやすい情報の提供など開かれた議会を目指していきます。

議会報告会はどうあるべきか (あり方検討委員会を設置)

議会基本条例に基づき平成22年度から始まった議会報告会も8回を数えるなかで、今後のあり方についてどうあるべきかを研究するため「議会報告会あり方検討委員会(委員6人)」を設置しました。

平成29年度に実施した報告会では、各会場に出席された市民にアンケートをお願いして、205人の方から貴重なご意見をいただきました。

市内7カ所で行っている会場数については、現状維持171人・増やす21人・減らす5人・未回答8人と、現状のままを望まれている方が83%と多数を占めております。増やすと回答された方は、黒木・立花・旧八女東部と西部からありました。

報告会の内容についても様々なご意見をいただいておりますので、議会報告会の質を高めるために、十分な議論を進めていきたいと考えています。

今後も議会報告会に多数の皆さんが参加いただきますことをお願いいたします。

請願

3月定例会に提出された「国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願」は賛成多数で採択しました。

国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める 意見書提出に関する請願(要旨)

請願者 山本 泰 藏 紹介議員 角田 恵 一

1 要旨

21世紀に入って内外の情勢は大きく変化し、その間、現行憲法の不備や問題点も明らかになってきました。わが国にふさわしい憲法の改正へ、国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出をお願いします。

2 理由

(1) 国民投票法の成立等により国民は憲法改正が可能に

現行憲法には国民主権が謳われており、既に70年近い歳月が経過する中で改めて国の在り方や憲法の内容等について国民の主体性や意志が反映されるべきと存じます。既に国会では、国民投票法の成立を機に憲法審査会が設けられ、国民は国会の発議に伴い、憲法改正に関わることができるようになりました。

(2) 現行憲法の不備や問題点が浮上

国家の安全と国民の安心は政府の責務であり、常に時代の変化と将来をしっかりと見据え、不備や問題点があれば是正し、わが国にふさわしい憲法に改めていくことが必須と存じます。そのためには国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起が必要です。

賛成討論

この請願は憲法改正を求めるものではない。地球温暖化による災害が多く発生し海外の不安定な情勢も含め、国民の安心安全を守るためには現行憲法の不備や問題点が明らかになってきた。

国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の3原則を守っていくため、国民一人一人の意識を高め、国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める必要がある。

反対討論

日本国憲法は、簡潔な憲法であり具体的規定は一般法に委ねており、改正の必要なし。

- 一 国民に直結する重要な問題であり、市民の声を聴き慎重審議し判断すべき。
- 二 緊急事態条項は、国民主権・基本的人権を脅かす懸念がある。
- 三 東南アジア諸国の不安感を増大し、平和の安定に逆行する。
- 四 改正反対の声も多く、国民の声を無視することである。

調査報告

地域再生の取り組みを学ぶ

鹿児島県曾於市、鹿屋市

総務文教常任委員会

1月30日
～31日

そ お し
曾 於 市

廃校を人集う場所に

平成24年に閉校した曾於市の財部北中学校は、再就職を目的とした職業訓練施設「たからべ森の学校」として開校し、幅広い世代の方々が専門訓練を受講することができ

る。施設は、有限会社サイバーウェブが運営しており、平成25年7月に公共職業訓練施設「農業人材育成科」を開講した。農業とパソコンを同時に学ぶことができる職業訓練施設として全国的に珍しく、県外からの希望者も多い。

訓練終了後は、曾於市への移住や地元雇用に結びついている。

また、市からの委託で学校という特徴を活かした多くのイベントを企画・運営しており、たくさんの人々が集う地域活性化の拠点としてよみがえっている。

120世帯およそ300人が住む鹿屋市柳谷地区「やねだん」では、自治公民館長を筆頭に「行政に頼らないまちおこし」に取り組んでいる。



豊重自治公民館長の話に耳を傾ける委員

集落の自主財源の確保を目指し、耕作放棄地ですつまいもの栽培を始められ、その後、土着菌の製造・販売、芋焼酎の商品化等に取り組まれました。その結果、自主財源は増加し、一部の住民にボーナス1万円を支給されている。

集落はアイデアあふれるリーダー（自治公民館長）のもとで、子どもたちから高齢者まで強い絆で結ばれ、皆が主役の住民自治の活動が行われている。

鹿屋市

感動の地域づくり

「柳谷地区「やねだん」」

鹿屋市

学校跡地活用を学ぶ

八女市と同規模の面積を持つ鹿屋市では、市有財産である閉校11カ所中6カ所が利活用されており、その中で、民間会社が活用しているカ所を調査した。



さつまいも出荷施設（旧平南小学校）



キクラゲ菌床栽培（旧高尾小学校）

1カ所は「さつまいも出荷施設」で、地元から4名の雇用が生まれており、もう1カ所では、「キクラゲ菌床栽培」が行われている。両施設とも、地域との連携が図られている。

八女市にどう生かす

八女市も少子化による学校統廃合で空きとなった学校跡地の利活用が急がれる。地域の活力ある場であつただけに人の通える場として、企業誘致、福祉関係、人材育成の場、加工場などあらゆるジャンルに企画の枠を広げ取り組む必要がある。

また、利活用の際には大切なことは、地域コミュニティとの連携を図ることである。

危機感こそが課題解決の原点

鹿児島県日置市、曾於郡大崎町 1月25日～26日

厚生常任委員会

日置市

生ごみの回収と 堆肥化に挑戦

奨励金制度を創設し、参加自治会を募りながら、生ごみを回収し堆肥化するのが、「生ごみ回収モーター事業」である。堆肥化したものは、生ごみ再生堆肥「よかんど」として自治会を通じて無償還元して、花壇や野菜作りに利用されている。この取

り組み事例がマスコミに取り上げられることで、自治会や市民の「ごみ分別に関する意識が変わり、燃えるごみが減少し、生ごみの回収量が増大する成果に繋がった。



日置市で説明を受ける委員

日置市

国民健康保険財政の危機、 脱却する対策とは

平成23年、国民健康保険の税率改定や法定外繰入れを行い、また国民健康保険加入者の減少及び医療費増大など、対策の緊急性があった。徹底した医療費分析を実施した結果、特定健診受診率向上を最重要課題として取り組むこととした。平成24年から3年間に於いて未受診者勧奨プロジェクトを立

ち上げ、未受診者を対象に保健指導員、行政嘱託員、市職員による戸別訪問受診勧奨を行った。また、自治会とタッグを組む住民へ健診の重要性を認識させるなど、有効と考えられる対策を同時並行して実践した。その結果、平成23年度受診率が29.4%から平成24年度には61.5%と驚異的な伸長と



国保財政についての説明の様子

大崎町

焼却施設が 存在しない町だから

環境省の平成27年度実態調査によると、リサイクルの取り組み部門の全国第1位は大崎町83.2%である。埋立処分場の延命化を目的として、住民、企業、行政の役割を明確にした分別ルールに基づき、生ごみの堆肥化をはじめ資源ごみ27品目の分別が確立されている。



そおりサイクルセンターにて

八女市にどう生かす

生ごみのリサイクル事業は、市民にとってもごみ袋の使用量の減少やごみ軽量化などのメリットがあり、また、野良猫やカラス対策にも繋がり、早期の取り組みを提言していく。

特定健診受診率向上対策については、八女市としても喫緊の課題であり、日置市の事例から全庁挙げて行政区と協働で、複数の対策を同時進行することが重要な成功ポイントになると考える。

また、この3事業の研修において、共通していることは、問題意識と危機感からアイデアが生まれ、覚悟をもつて実行している。問題意識とともに危機感が解決の道に繋がることを改めて認識させられた。

3月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成 ●は反対 欠は欠席】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二
報告第1号	報告事項のため採決はありません																									
議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	欠	欠
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	欠	欠
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	欠	欠
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	○	○	●	○	○	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会提出議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長職のため採決には加わりません

3月定例会で審議した議案の結果

報告第 1 号	専決処分について（事故による損害賠償）	報告
議案第 1 号	八女市行政組織条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 2 号	八女市黒木町大淵財産区の解散に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第 3 号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第 4 号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 5 号	八女市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 6 号	八女市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 7 号	八女市指定地域密着型サービスの事業等の人員、設備及び運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 8 号	八女市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 9 号	八女市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 10 号	八女市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 11 号	八女市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第 12 号	八女市横町町家交流館条例の制定について	可決
議案第 13 号	八女市林業6次産業化拠点施設条例の制定について	可決
議案第 14 号	八女市奥日向神キャンプ場条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第 15 号	八女市教育委員会の職務権限の特例に関する条例を廃止する条例の制定について	可決
議案第 16 号	八女市過疎地域自立促進計画の変更について	可決
議案第 17 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可決
議案第 18 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決
議案第 19 号	権利の放棄について	可決
議案第 20 号	権利の放棄について	可決
議案第 21 号	権利の放棄について	可決
議案第 22 号	権利の放棄について	可決
議案第 23 号	権利の放棄について	可決
議案第 24 号	市道路線の変更について	可決
議案第 25 号	指定管理者の指定について	可決
議案第 26 号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	可決
議案第 27 号	平成29年度八女市一般会計補正予算（第7号）	可決
議案第 28 号	平成29年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算（第3号）	可決
議案第 29 号	平成29年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 30 号	平成29年度八女市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 31 号	平成29年度八女市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 32 号	平成29年度八女市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 33 号	平成29年度八女市矢部診療所特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第 34 号	平成29年度八女市黒木町大淵財産区特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第 35 号	平成29年度八女市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第 36 号	平成30年度八女市一般会計予算	可決
議案第 37 号	平成30年度八女市国民健康保険事業費特別会計予算	可決
議案第 38 号	平成30年度八女市簡易水道事業費特別会計予算	可決
議案第 39 号	平成30年度八女市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算	可決
議案第 40 号	平成30年度八女市下水道事業特別会計予算	可決
議案第 41 号	平成30年度八女市介護保険事業費特別会計予算	可決
議案第 42 号	平成30年度八女市後期高齢者医療特別会計予算	可決
議案第 43 号	平成30年度八女市農業集落排水事業特別会計予算	可決
議案第 44 号	平成30年度八女市矢部診療所特別会計予算	可決
議案第 45 号	平成30年度八女市黒木町串毛財産区特別会計予算	可決
議案第 46 号	平成30年度八女市黒木町木屋財産区特別会計予算	可決
議案第 47 号	平成30年度八女市水道事業会計予算	可決
議案第 48 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について《杉山 信行》	同意
議案第 49 号	教育委員会委員の任命について《赤司 真理子》	同意
議案第 50 号	財産区管理委員の選任について《堤 和俊》	同意
議案第 51 号	教育長の任命について《橋本 吉史》	同意
請願第 2 号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願	採択
委員会提出議案第1号	八女市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決
委員会提出議案第2号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書	可決
人権擁護委員候補者の推薦について《櫻木 恵子 井上 光洋 塩塚 光徳 那須野 信》	適任と認める	
会派制度調査特別委員会の設置について	設置	

請願の取扱い変更について

先例の変更に伴い、請願の取り扱いについての変更点をお知らせいたします。

- ①請願を議会運営委員会で協議するため、請願の提出締切日を一般質問と同じく定例会招集日の5日前の正午までとする。
- ②変更に伴い、請願の委員会付託を定例会初日に行う。

議会を傍聴しませんか？

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp



こんなことは、
「公職選挙法違反」です！
～贈らない!!求めない!!受け取らない!!～

次回定例会
6月1日(金)予定
立花庁舎議場 午前10時



係もこのお二人のように
人なんだ、同時に日韓関
としてもなんて素晴らしい
流であるだけでなく、人間
手に、選手としても超一
この瞬間イ・サンファ選
に抱きつかれました。

合同シーンでした。
とイ・サンファ選手が抱き
を受けたのは、小平選手
大会で一番「衝撃・感動」
安婦問題などある中、今
反日感情もある中、自国
民から批判も予想される
中、涙しながら小平選手
に抱きつかれました。

切さを痛感しました。
日韓両国には、従軍慰
安婦問題などある中、今
大会で一番「衝撃・感動」
を受けたのは、小平選手
とイ・サンファ選手が抱き
合っシーンでした。

閉幕した韓国平昌オリ
ンピック・パリンピックで
すが、特に金メダルに輝か
れた羽生、小平、高木姉
妹各選手の美しく完璧な
演技・力走には大変魅了
されました。

編集後記



ちゃめ
お茶娘

なればと思いました。
クーベルタン男爵は「オ
リンピックは参加すること
に意義がある」と言われま
したが、まさか、ここまで
想定され・・・。
最後に全選手・関係者
に夢と感動を本当にありが
とございました。

伊井
渡

発行責任者
議長 川口 誠二
議会だより編集委員会
委員長 田中 栄一
副委員長 堤 康幸
委員 松崎 辰義
委員 大坪 久美子
委員 中島 信二
委員 服部 良一
委員 伊井 渡
委員 高橋 正敏
委員 橋本 敏